

想

全国温泉地自治体首長会議

町長 三浦正隆

先日、東京で環境省主催の標題の会議がありました。出席者は別府や熱海など名だたる温泉地ばかりで多少気後れしましたが、内容に惹かれて出席しました。

基調講演は山口県長門市長が「温泉町の活性化と地域資源を活用した温泉地のにぎわいの創出」というテーマで行いました。長門市は昨年12月ロシアのプーチン大統領と安倍総理が会談した大谷山荘というホテルがあるところで、最近の観光客の流れとしては、元



全国温泉地自治体首長会議

乃隅稲荷神社（朱色の鳥居が沢山並んでいるところ）がアメリカのテレビ会社CNNによる「日本の最も美しい場所31選」に選ばれ爆発的なブームとなっているそうです。

長門市には5つの温泉がありましたが、やはり年々観光客は減っているそうです。この中で一番大きいのが湯本温泉で大谷山荘もここに在ります。

平成26年1月、150年の歴史を有する老舗ホテルが廃業しました。このホテルの関係施設が温泉街のかなりの部分を占め、遊休地が広がる苦しい状況に追い込まれました。耐震化が為されていないため引き受け手もなく、市ではこれらの取り壊しのため国の補助事業と併せ多額の費用を負担して解体したそうです。

幸い星野リゾート社が進出することになり、せっかく星野さんが進出するのだから是非マスタープランをつくって欲しいと要望した

ところ、初めてでは有るがやるからには徹底したいということで、素晴らしいマスタープランを策定されたそうです。

このマスタープランに合わせて市ではまちづくり計画を策定し、宿泊客・日帰り客共に大幅に増やし、高い経済波及効果を目指すことになりました。この他、俵山温泉の昭和レトロな湯治場の原風景を守ろうとする取組や温泉ガストロノミーウオーキングという最近流行している施策の紹介もありました。

次に兵庫県城崎温泉の事例が発表され、2014年オープンした城崎アートセンターは舞台芸術の発表の場だけでなく、アーティストが城崎のまちに暮らすように長期滞在できるアートの拠点として活用されているそうです。

最短3日から最長3ヶ月間滞在可能で、24時間自由に活動が可能。滞在期間中の宿泊費やホール、ス

タジオ使用料は無料で、ただし、最初の発表は豊岡市で上映しなければならぬとのこと。

最初の年は、カンヌ映画祭の主演女優賞受賞したフランスを代表する女優のイレーヌ・ジャコブさんがアンドロイド版「変身」を上演したそうで、この5年間で外国人宿泊者数が10倍の4万人に増えたそうです。海外の評価機関であるトリップアドバイザーからは「温泉地としては最上位」の評価を得ているほか国内でも「温泉総選挙」のインバウンド部門で第1位になるなど高く評価されています。

紙面の都合で紹介し切れませんが、大分県竹田市市長の「日本一の国民保養温泉地を目指して」クアハウス構想の理念、大分県別府市、鳥取県倉吉市、石川県加賀市、静岡県熱海市、宮城県大崎市の事例発表があり大変参考になりました。いずれ今後当町の施策に反映させたいと思います。皆様、今月も健康でお元気にお過ごし下さい。

